

富士山を学び、守る

富士山憲章

ニュースレター

2006.

9

No.74

発行

富士山ボランティアセンター

今月の話題

Contents

富士山憲章ニュース

- 富士山のゴミを取り去ろう
山岳ボランティア富士山クリーン作戦
- 富士山レンジャーによる
マイカー規制中のマナー啓発
- 子どもたちの富士山体験
～環境保全の決意あらたに
- 富士山美化清掃活動

富士山レンジャー レポート

- 車馬等乗り入れ規制について
- こんなものをみつけたよ
(月見草)

お知らせ

○富士山関連イベント

山岳ボランティア富士山クリーン作戦

平成14年の国際山岳年から今年で5回目の実施。先発隊と後発隊に分かれ、富士山5合目～8合目付近の登山道以外の山肌の清掃をしました。急傾斜地での作業、落石等への配慮、ゴミ収集から運搬など、平地の作業より危険が伴うため、山岳のプロである山梨県山岳連盟を中心に、毎年約1トンのゴミを回収しています。



富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。

富士山のゴミを取り去ろう！山岳ボランティア富士山クリーン作戦

登山シーズンも終わりの8月27日、富士山吉田口登山道5合目～8合目において、山岳連盟を中心に、山梨県、富士山憲章山梨県推進会議及び富士山吉田口環境保全推進協議会などの91名が山腹の清掃を行い、1.2トンのゴミを回収しました。

近年、多くの清掃活動や登山者のマナーの向上により、富士山はきれいになったと言われていますが、6合目～8合目の登山道を外れた場所では、未だ、砂礫の下から、空き缶やビン、鉄くずなどが、雪しろや雨などの影響で、富士山の表面に出てきています。

また、5合目付近の林の中でも、ゴミがたくさん見つかりました。これらは、昔、捨てられたり、埋められた古いものですが、中には、最近捨てられたと思われる新しいゴミもありました。

山岳ボランティア富士山クリーン作戦は、単なる清掃活動ではなく、「これ以上、富士山にゴミを捨てさせない」という利用者への啓発活動でもあるのです。

この日、参加者は、山頂を見上げ「いつか、このクリーン作戦をする必要のない日が来れば」と願いながら下山しました。



積み上げられたゴミ



山小屋関係者45人も参加

